

中3、夏のもう一つの課題

'11年度 塾生1学期通知表結果

9科目別平均	英語	数学	国語	社会	理科	5科目計	音楽	美術	保体	技家	9科目計	
学年	3	4.8	4.7	4.1	4.2	4.5	22.3	3.9	3.7	3.9	4.0	37.8
	2	4.8	4.6	4.0	4.0	4.2	21.5	3.6	3.7	3.5	3.6	35.9
	1	5.0	4.7	3.9	4.8	4.2	22.7	4.0	3.6	4.2	4.3	38.7

塾生5科目別内申評定割合 (%)

	英語	数学	国語	社会	理科
5	85	72	28	48	48
4	15	28	48	35	37
3	0	0	24	17	15
2	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0

塾生9科目合計内申割合 (%)

	'11	'10	'09	'08
40~45	33	51	33	38
36~39	33	22	27	21
32~35	28	24	27	28
27~31	7	2	12	14
9~26	0	0	0	0

さて、中学生の夏期講習も中盤をむかえました。暑い毎日をおくっているのですが、中3にはちょっとおもしろい“課題”があります。15, 6年前にも行って中断していたことを、また昨年度より行っています。マンガ本の貸し出しです。塾生に読んでもらいたい本はいろいろとあるのですが、時間の関係もあり、15, 6年前と同じ「柔道部物語」と「遙かなる甲子園」の二冊を順番に持ち帰って読んでもらっています。この二冊の内容は全く異なります。「柔道部物語」は吹奏楽部に入りたかった主人公が、先輩の言葉にだまされて柔道部に入り、その中で強くなっていくという、一見少年漫画の典型のようなストーリーですが、“超人的”な強さで敵を倒すのではなく、等身大の一高校生が努力と挫折をくり返し成長していく姿を、第一級のギャグにのせて読ませてくれます。私は、勉強であれ運動であれ、こういう性格の若者こそが自分の可能性をのばせるのだと信じています。また、「遙かなる甲子園」は、沖縄のろう学校の生徒が、高校野球をとおして、自分の障害と戦うだけでなく、差別や偏見に満ちた社会と戦っていく姿を描いた作品です。今なお問題となっている沖縄の米軍基地のことや、障害者に対する意識が大きく変わると思います。内容はとても重いのですが、主人公や、そのまわりでささえる人々のあたたかさにとっても強い明るさを感じます。

こうした作品を“課題”としてまで読ませるのは、私の授業そのものが、こうした感性をもとに生徒にぶつかっていくからです。おそらくこの感性がわかる塾生は私の言葉（説明）がよくわかるはずです。きっとこれが生徒と私との信頼関係の原点だと思うのです。中1、中2の諸君は中3で読むのを楽しみにしてください。

さあ、残りの夏、ともに熱い汗を流してがんばりましょう。